

令和元年度ふるさと創生NPO活動応援事業報告書

| 団体名 | 特定非営利活動法人まど | |
|--|--------------------|--|
| <p>1. 事業内容について、進捗状況報告書をまとめるような形で記載してください。</p> <p>当施設は、大分県により令和2年3月に、障害者総合支援法に基づき「自立訓練・就労移行支援」の多機能型事業所として指定されました。</p> <p>この施設は、風月館大学校こまどカレッジと命名され、高等学校および高等部を卒業した、障がいを持つこども若者の新しい選択肢として開設しました。居場所づくりとしてキャンパスライフを送りながら、学びの場として社会的自立に向けた勉強・訓練、一般就労に向けた勉強・訓練を行う場所です。この施設の指定において、勉強するためのスペースとして、机やイスを6セット、利用者（生徒）のための書籍を置く本棚1セット、利用者（生徒）の個人情報や県に提出する書類などの管理のための事務書庫6セットを今回の補助にて購入しました。またこの施設の認知度向上のための新設案内チラシ、パンフレット、看板等の印刷物にも補助を活用させていただきました。</p> <p>補助の結果、4月1日開校も利用者7名を迎えスタートできる状況です。</p> <p>中津市での新たな取り組みとして、障害福祉業界や教育業界において多数の問い合わせをいただき注目されていることの実感と、今後の責任を感じています。</p> <p>今後、地域の中での切れ目のない支援によって、近年の労働力不足の解消や職場定着率向上が図られ、障がい者や引きこもりの方々の社会参加の場を拡大し、地域活性化に貢献できるよう励んでまいります。</p> | | |
| <p>2. 事業を実施している様子等が分かる写真を4枚以上添付してください。</p> | | |
|  | | |
| <p>緑色の椅子と白いパーション付き机</p> | <p>同様に別の訓練室に配置</p> | |



奥の本棚

事務所内個人情報保管庫



事務所内件提出書類などの保管庫と書庫

3. 来年度以降、事業終了後も、その効果や結果が継続されるために、組織としてどの様に、体制や対応をしていくのかについて記載してください。

風月館大学校こまどカレッジが、地域の社会資源として必要とされて行くためにも、地域との連携や企業との連携が欠かせない。そのために障がい特性や引きこもりによる社会性への欠如への理解を広めていく活動を行って行く。大企業の障害者雇用枠だけではなく、中小企業へ1枠でも障害者雇用枠を作っていただけるような活動と、雇用側の理解を広める活動を行って行く。

ジョブカフェ、商工会議所、社会福祉協議会等との連携を強化し上記の活動を行って行く。また活動の様子を SNS やHP、広報誌などで公開し、NPO 法人として賛助会員の拡大を行い、上記の活動を広げていく。